

平成 29 年度食物栄養学科自己点検・評価報告書

目 次

頁

自己点検・評価項目およびメンバー	1
<u>I. 教育</u>	1
1. 教育課程	1
1-1.教育課程	
1-2.教職課程	
1-3.社会法人全国栄養士養成施設協会栄養士実力認定試験	
1-4.教育課程懇談会	
2. 校外実習・教育実習	4
2-1.校外実習	
2-2.教育実習	
<u>II. 学生支援</u>	6
1. 学生指導	6
2. 進路指導（就職・進学）	7
3. 卒業時アンケート	9
<u>III. 地域貢献</u>	10
1. 研究・社会的活動	10
2. 管理栄養士国家試験準備講習会	23
3. 公開特別講演会	23
4. 公開講座	24
<u>IV. 入学者確保</u>	25
1. 学生募集・入学試験	25
2. 入試広報	27
<u>V. マネジメント体制</u>	29
1. 自己点検	29
2. FD/SD活動	30
3. 資源の有効利用	30

自己点検・評価項目およびメンバー

自己点検・評価項目	メンバー
I. 教育	竹内 弘幸 富岡 徹久 田淵 英一
II. 学生支援	深井 康子 堀田 裕史
III. 地域貢献	稗苗 智恵子 山岸 博美 高木 尚紘
IV. 入学者確保	大森 聡 樋口 康彦 角田 香澄
V. マネジメント体制	中根一恵 稲場 暁子 廣田 恵巳 宮田 佳奈

I. 教育

1. 教育課程

1-1. 教育課程

(1) 実績

① 教育課程表

平成 29 年度食物栄養学科の教育課程は、前年度と比べ、学則改正はなく担当教員のみの変更となっている。

② 資格取得数

平成 29 年度卒業生 81 名（前年度と比較して 21 名減）の資格取得数は、栄養士 81 名（18 名減）、栄養教諭二種免許 10 名（増減なし）、フードスペシャリスト 25 名（8 名増）、専門フードスペシャリスト（食品開発）0 名（1 名減）、社会福祉主事任用資格 81 名（21 名減）で、NR・サプリメントアドバイザーはいなかった。

③ 学位授与方針、教育課程編成・実施の方針

平成 28 年度も継続して、学位授与方針と教育課程編成・実施の方針を再吟味した。

④ 時間割編成ネック解消

専攻科学生 PC への期間限定での栄養計算ソフトをインストールすることで、平成 28 年度に開始した専攻科の F306 使用廃止を継続し、時間割編成が可能となった。ただしソフトインストールが煩雑であり、平成 30 年度は専攻科の F306 使用復活の可能性はある。

⑤ 給食管理校外実習について

平成 27 年 9 月の厚生労働省東海北陸厚生局の实地視察で給食管理校外実習資料不十分との指摘に対し、平成 29 年度も前年度に続き給食管理校外実習の実習課題を 10 時間追加実施し、学内実習課題指導証明書を作成して対応した。

(2) 課題

① 給食管理校外実習について

平成 27 年 9 月の厚生労働省東海北陸厚生局の实地視察で指摘された 10 時間の追加実習であるが、これを永続的に行うには、前期試験成績採点期間という繁忙期に重なり負担が大き

いという問題をクリアする必要がある。

②時間割過密状態について

食物栄養学科は、実験・実習が多いこと、取得すべき単位数も多いことなどから、時間割が過密である。特に1年後期、2年前期の時間割が過密であり、またF館コンピュータ演習室使用授業が多く時間割を難しくしている。

1・2.教職課程

(1)教員組織と実績

教職課程の教員組織全体としては、専任教員設置の分野に専任教員数を充足するなど専任教員数は基本的には安定している。一方「教育原理」「教職課程総論」はじめ計5科目を非常勤講師にお願いしている状況に変化はない。

①免許取得学生数

平成29年度教員免許取得数は10人で、ここ数年10～15名で推移している。10名未満では学生同士による切磋琢磨による活性化に問題があり、15名を超えると受入先等の確保が難しいという問題もある。

②平成26年度文部科学省視察への対応継続

平成26年12月10日の文部科学省の教員免許課程実地視察での授業科目「栄養教育実習指導」への指摘事項「事後指導の記述が見当たらない」に対応して、当該科目に事後指導として栄養教育実習報告会の準備指導・発表を実施し以後継続する。

③平成31年度教職課程再認定への対応

平成31年度からは教職課程が一新されるため、名古屋大学での相談会1回と文科省での相談会2回に出席し、平成30年3月23日に再認定の申請を行った。平成31年度教職課程再認定では、従来の『教育課程総論』を廃止して「総合的学習の時間の内容」を追加した『教育課程・教育方法総論』を新設し、また『特別支援教育概論』を新設するなどの対応を行った。なお申請の認可は平成30年8月の予定であり、認可の可否についてはなお予断を許さない状況である。

④平成29年度末定年退職者対策

平成30年度以降の教職課程認定に専任教授1名以上必須の条件が維持のため、その対応を行った。

(2)課題

①平成31年度教職課程再認定への適切な対応

申請の認可は平成30年8月の予定で、教育課程・シラバス・教員等の不備等があった場合、適切な対応が必要になる。

1・3.社団法人全国栄養士養成施設協会栄養士実力認定試験

(1)実績

本学は、社団法人全国栄養士養成施設協会による栄養士実力試験を導入初年度の平成 16 年度より実施しており、平成 29 年度で 14 回目となる。

この試験は、全国の栄養士の資質向上と均一化を図り、栄養士養成施設の教育に関する認識の連携と強化を目的に実施している。今年度は栄養士としての総合力を問う応用問題が 5 問追加となり全体で 85 問、試験時間は従来同様 120 分で行われた。判定基準は、A（栄養士として必要な知識・技能に優れ絶対的信頼が置けると認められた者）、B（栄養士としてほぼ十分な知識・技能を取得しているが、なおいっそうの資質の向上を期待される者）、C（栄養士としての知識・技能が不十分でさらに研鑽を必要とする者）の 3 ランクに分けられる。

試験結果の平均をみると短期大学が 38.2 点に対し、本学は 43.0 点で他の短期大学の平均より 4.8 点高かった。

栄養士実力認定試験の受験人数・試験結果の推移

回数		12 回	13 回	14 回
年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
受験人数（人）	全国 ¹	10349	10350	10329
	短期大学	4514	4501	4465
	本学	78	102	81
試験結果の平均（点）	全国	43.2/80	43.9/80	42.5/85
	短期大学	38.8/80	40.2/80	38.2/85
	本学	41.4/80	42.7/80	43.0/85

¹全国：四年制大学（管理栄養士、栄養士養成、3 年次受験）、短期大学、専門学校などの養成施設

(2)課題

- ①来年度は、A ランク者の割合がさらに多くなるように、また C ランク者ゼロを目指して学生に対して実力認定試験受験への意識をより高め、早期から継続的に働きかけていく必要がある。
- ②今年度から応用問題が追加されたが、従来の試験対策で行っていたトミタン模擬試験にも追加問題を作成して総合力を高める対策を図るなど、本学の学生が実力認定試験を通して平均点の向上とともに真の実力を習得できるよう、栄養士総合演習の在り方の検討が必要である。

1-4.教育課程懇談会

(1)実績

実施日：平成 30 年 3 月 22 日(木)14：00～15：00

場 所：食物栄養学科会議室 F 314 室

参加者：食物栄養学科 教職員 14 名

概 要：この 1 年間を振り返って各教員から発言してもらった。授業は学長裁量経費により包

丁技術の実践教育を一年間やってきたところ、個人差はあるが概ね効果は上がった。トミタンスイーツラボでは、フィールドワークをキーワードにして学外へということを行っている。次年度も継続していきたいが、短大生という2年間の中で2年生が1年生にどう引き継いでいくかが課題である。今年の一年生は調理のボランティアへの参加が積極的だった。ボランティアに参加した後の授業への関わり方にも変化が見られたことを感じた。いつもの授業とは逆の教える立場を通して学んだことが授業にも還元されていくとよい。研究と教育の両立は難しい。などの意見があった。つづいて、将来の短大や学科の将来構想についても意見を交換しあった。「昔から四年制にしたいという思いはあったが資金の問題がある。」という意見がある一方で、資金の問題もあるが、ニーズとの見極めが大事、とう意見もあった。いずれにしても、「大学教員として自分の専門性に磨きをかけていく必要がある。」などの意見が出た。管理養成四年制大への移行については、多くの教員が移行すべきとの意見が多かったが、種々の課題もあり容易ではないとの意見もあった。

(2)課題

フードスペシャリストについては、教員の配置や教員の確保および資格試験の受験者数の減少等の課題があり、今後について方向性を確定していく必要がある。

2. 校外実習・教育実習

2-1.校外実習

(1) 実績

- ①平成 29 年度は 2 年生が 8 月から 9 月および 2 月に 2 単位分の給食管理校外実習を行った。その内、実習先は病院 23 カ所、福祉施設 28 カ所、学校 9 カ所（兼務校含む）である。なお、学校実習は 1 単位とし、栄養教諭二種免許を取得する学生を対象としている。不足の 1 単位分を取得するために病院実習および福祉施設実習のいずれかでを行った。平成 30 年 2 月に復学した学生の給食管理校外実習を福祉施設で実施した。
- ②本学科で作成している「校外実習を履修するにあたっての留意事項」に該当し、実習を受けることに問題となった学生は、平成 29 年度においてはいなかった。
- ③抗体価検査は 1 年入学時に実施しており、風疹、水痘帯状ヘルペス、麻しん、流行性耳下腺炎の検査結果が陰性もしくは低い値であれば、できるだけ早い時期に接種するよう指導を行った。
- ④実習施設によっては患者および職員の個人情報の保護に関する誓約書を必要とする施設が増えてきた。
- ⑤実習報告会は 1・2 年生を対象に行った。2 年生には校外実習の成果を発表するよい体験となった。1 年生にとっては、来年度の実習に向けての心構えを得る機会となった。また、大学祭でのクラス企画として、実習の課題報告やポスターなどの媒体を展示し、好評を得た。
- ⑥実習報告会に向けて提出したレポートをまとめて冊子を作成し、学生、教員へ配布を行った。

(2)課題

- ①今年度は、校外実習中に目立ったトラブルはなかった。しかし、すべての学生が校外実習に積極的であるというわけではなかった。ここ数年、積極性について疑問視される旨を評価表に書かれる学生が増えているように感じている。校外実習中の SNS の取り扱いに関して注意喚起を今後も継続していく必要がある。

2-2.教育実習

(1)実績

- ①29年度は10名が実習を行った。
- ②栄養教育実習期間は、9月11日～29日のうち5日間行った。
- ③実習校は別表のとおり、5校で実施した。
- ④実習は全て小学校で行い、1校あたり1名～3名の配属であった。
- ⑤富山市および高岡市教育委員会へは、担当者が教育委員会に出向き担当者に依頼し、その他の教育委員会は事前に電話にて了解を得て、直接学校に依頼して決定した。
- ⑥実習は給食管理と教育実習の2週間を連続して同一校で実習することを原則としている。今年度は、実習校全ては単独調理方式だったので給食管理実習を給食センターでは実施しなかった。
- ⑦栄養教諭履修費として、15,000円を昨年同様に集金した。
- ⑧実習校への挨拶は、担当者や学生が事前に訪問し、要望や留意点を伺い実習に備えた。また、実習期間中は、本学教員が学生の実践授業を参観した。
- ⑨大学祭時には、実習で使用した資料や実習内容をまとめて展示した。
- ⑩実習発表会は、11月28日(火)に開催した。1年生にとっては発表を聞くことにより、指導案の作成や実習に向けて準備しておくことがわかり、有意義な発表会であったと思われる。また、後輩から先輩への実習に係る質疑応答も実施した。

(2)課題

- ①一般教員や養護教諭、他県の栄養教諭の教育実習生は、実習前年度に実習校と交渉を済ませている。本学は、実習当年度に入ってから依頼しているため、実習校からは、“もう少し早く知らせてほしい”、という指摘もあった。そのため、1年生の成績が確定したら、早急に教育実習委員会を行い、4月上旬までに市町村教員委員会や実習校に依頼をする。(本学のシステムからは、前年度から依頼することは困難であるが、少しでも早い時期にアポイントメントを取る手立ては必要であると考えられる。)
- ②栄養教育実習は1週間と短いため、少しでも学校組織や児童の実態を理解することが、栄養教育実習をより効果的に実施できると考えているため、本学では原則給食管理実習と栄養教育実習を同じ学校で実施できるよう実習校に依頼している。しかし、給食管理実習(栄養士免許取得目的)と栄養教育実習(栄養教諭免許取得目的)の意味や違いを理解していない学生もいるため、実習前に周知しておく必要がある。
- ③②の意義を踏まえつつ、次年度も市町村教育委員会には、この趣旨をご理解いただくよう働

きかけていく。

- ④学生から実習時の心構えについて不安の声が多かったため、言葉遣い、挨拶の徹底、発声、聴講時の留意点等を指導した。今後も指導を継続していく必要があると考えられる。
- ⑤栄養教育実習指導の授業では実習の目的および心構え等について指導し、教育実習での研究授業を想定した模擬授業を行い、教員としての自覚や意欲につなげるようにしているが、授業時間数の確保が難しいため、1年生から教職に係る科目を通して、継続的な指導を行うことが望ましいと考えられる。
- ⑥1学年と2学年の連携、短大と実習校との連携を充実させることで、より良い実習になるよう努めていく必要がある。

平成 29 年度 栄養教育実習 実習校一覧

	実習校	栄養教育実習期間	実習生数 (名)
富山市	山室中部小学校	平成 29 年 9 月 11 日 (月) ~15 日 (金)	2
富山市	堀川小学校	平成 29 年 9 月 12 日 (火) ~19 日 (火)	3
富山市	鵜坂小学校	平成 29 年 9 月 11 日 (月) ~15 日 (金)	1
高岡市	下関小学校	平成 29 年 9 月 25 日 (月) ~29 日 (金)	1
射水市	小杉小学校	平成 29 年 9 月 11 日 (月) ~15 日 (金)	3
		計	10

II. 学生支援

1. 学生指導

(1)実績

①休学・退学・復学

平成 29 年度入学生は 3 月末で 2 名の退学者と、1 名の休学者が出た。休学者は 30 年度から 1 学年に復学する。一方、平成 28 年度入学生 1 名は休学中であったが、退学した。したがって、平成 29 年度の退学は 3 名であった。

②学科および学校行事への参加

郷土料理や加賀料理などを実際に味わって体験する日帰り研修や、大規模な食品工場や地域特産食品の製造工場などを見学する研修旅行は、食物栄養学科の科目をより深く理解する上で役立っている。これらの行事は栄養士総合演習の一部として実施している。また、大学祭では、学科企画として、1 年生は「トミタンスイーツラボ」をテーマとして創作菓子をカフェ形式で販売した。2 年生は、8 月から 9 月にかけて実施した校外実習の成果を報告した。併せて、両学年とも保護者懇談会を実施した。各行事の実施概要は以下のとおりである。

a)日帰り研修

期日：平成 29 年 5 月 16 日 (火)

内容：1 年 五箇山 (報恩講料理、世界遺産菅沼合掌造集落散策)。学生 86 名、教員 4 名参

加。

2年 金城楼（加賀料理）・近江町市場散策。学生 79名 教員 4名参加。

b)研修旅行

期日：平成 29 年 9 月 7 日（木）～8 日（金）

対象：1 年 84 名、教員 4 名参加

場所：名古屋方面

内容：1 日目 フードサンプルいさわき、トヨタ産業技術記念館およびヒルトンホテルでテーブルマナー。

2 日目 七福醸造株式会社、名古屋の郷土料理「ひつまぶし」

c)53 回大学祭

期日：平成 29 年 10 月 20 日（金）～22 日（日）

d)保護者懇談会

期日：平成 29 年 10 月 22 日（日）

対応：担任（1 年担任、2 年担任）

内容：1 年生は前半、就職や進路など最も相談したいと思われる内容について全体説明をした後、希望者について個別懇談を行った。2 年生は、進路について具体的な質問が予想されるため、個別懇談のみを行った。個別相談では、1・2 年生とも、就職や進路について相談が多く、自分の子どもが大学の勉学についていけるか心配との相談もあった。

(2)課題

- ①今後も入学して間もなくから学業に専念できない学生がいることを想定して、なるべく早期に個別や集団面接を行い、保護者、担任、学生およびカウンセラー等との連携を図り、学生生活の支援や相談を行っていく必要がある。
- ②学生生活・授業内容等の満足度の高さを維持していくために、web シラバスや図書館等を活用し学ぶ姿勢を身に着けることができるように働きかけが必要である。また、学生のボランティア活動の積極的な参加を促し、コミュニケーション能力を含めて社会貢献ができる社会人を育てる必要がある。

2. 進路指導

(1)実績

①進路状況

卒業生 81 名の進路状況は、就職 79 名（97.5%）と昨年より 5.3%増、大学 3 年次編入学 1 名（1.2%）昨年より 3.7%減、その他家事等 1 名（1.2%）昨年より 0.8%減であった。就職を希望した学生の内訳は、専門職の栄養士 68 名（86.1%）、栄養士に準ずるは 4 名（5.1%）、

一般事務、販売等 7 名 (8.9%) であった。栄養士、栄養士に準ずる業務の専門職の状況は例年並みであった。また、栄養士職の主な内訳では保育所・こども園 11 名 (16.2%) 5.7%増、医療機関 8 名 (11.8%) 5.2%増、委託給食会社・事業所 31 名 (45.6%)、福祉施設 15 名 (22.1%) 8.2%減であった。

②就職先へのお礼

平成 29 年 7 月に、食物栄養学科専任教員で平成 29 年 3 月に卒業した学生の就職先 (50 ヶ所) へ就職定着のための巡回と次年度の求人依頼を行った。

③模擬面接について

実務指導の時間に、就職活動に必要な自己分析、模擬面接指導を行った。また、「先輩と語る会」を 7 月 12 日 (水) に実施し、以下の 3 名の先輩から「就職活動の実際と心構え」についてアドバイスを貰い、就職に対する学生の意識の高揚に努めた。

八尾園 栄養士 (平成 27 年 3 月卒業)

流杉病院 栄養士 (平成 24 年 3 月卒業)

専攻科 1 年生 (株)メフォス(高岡市民病院)で 1 年間栄養士実務 (平成 28 年 3 月卒業)

④給食会社説明会実施

進路決定の一助として 5 月 13 日 (土) に委託給食会社 4 社 (日清医療食品会社(株)、日本海給食(株)、(株)メフォスおよび富士産業(株)) の説明会を本学で開催した。学生はほぼ初めての専門職の求人に対し真剣に説明を聞き、意欲的な就職活動に繋げることができた。

⑤求人情報収集および求人開拓

平成 29 年度卒業生の就職に向けての求人情報収集と求人開拓のために、県内外の専門職関係機関などへの求人依頼を実施した。依頼状、求人票、学科概要、平成 28 年度卒業生の進路状況、カレッジガイドなど 368 通送付した。

⑥進路ガイダンス

就職支援センターと協議しながら、1 年生への進路ガイダンスは以下のように取り組んだ。

a)進路ガイダンス I・・・平成 29 年 12 月 11 日(月)に学科長や支援センター長から就職についての取り組み方を、また、内定を貰った在学生 3 名 (委託給食、直営、専攻科志望) から自分の体験を振り返り、1 年生へアドバイスの時間を設けた。

b)進路ガイダンス II・・・今年度は大雪のために予定していた日時等を変更し、平成 30 年 2 月 13 日 (火) の 2 限 (雪による交通機関の遅延が多い年であったため) から開始した。先に就職支援センター長から富山県内の企業の良さと就職活動の進め方や履歴書作成についてお聞きし、その後、就職活動 (面接方法や電話対応等を含む) に関する DVD 視聴 (午前・午後) を行い、就職活動時のマナーなどを学んだ。午後からは DVD 視聴の傍ら、履歴書用写真撮影を行った。

⑦教養科目対策講座 (全学対象講座)

公務員試験を念頭においた教養科目を基本とする講座を平成 30 年 3 月 19 日 (月) ~28 日 (水) の 7 日間、受講者負担で開催した。本講座は、受講者 68 名のうち、食物栄養学科からは 4 名 (5.6%) が受講した。受講者は昨年度より減少した。

- ⑧栄養士専門職関係の求人は、本学求人票のほかハローワークやインターネット等により行っており、2年担任は進路を具体的に把握するため個別面接や指導を行っている。また、必要に応じ、支援センターと連絡を取りながら学生への対応に力を注いだ。
- ⑨保護者懇談会は10月22日(日)の大学祭期間中に行われ、1年全体会23組(昨年48組)、2年28組(昨年17組)であり、保護者に進路状況の説明など個別相談を実施した。アンケートより満足した、まあまあよかったという回答をいただいた。

⑩進学

四年制大学編入 岐阜女子大学 家政学部 健康栄養学科 1名

(2)課題

- ①学生は直営の給食施設、中でも保育所や学校給食等の土日祭日が休みで、日中の勤務時間への就職を求めるものが多い。今年度は子ども園からの求人が昨年より多少多かったものの数は少ない。委託給食会社の求人に対して応募者が少ない傾向であった。今後、求人に対しての説明会の設定を含め積極的に就職活動を行うための指導が求められる。
- ②学科で実施している委託給食会社ガイダンスを4社に依頼し、卒業生の話も含めて業務内容を聞くことができた。身近な存在の話は自分のこととして考えるためには今後も継続していただくように伝えていく必要がある。
- ③就職支援指導に対し、就職に意欲的な学生がいる反面、連絡等も十分にとることができない学生がいる。ホームルームや実務指導等で「報連相」の徹底を伝えるが反応の少ない学生に対しては対応が難しい。就職相談のための時間を設定して呼び出しても来ないため、友人の協力を得て協議の時間を持たなければならない学生もいた。働く意欲や進路が不鮮明な学生など個々の適正に配慮し保護者と連携しながら進路指導を行い、就職支援センターの助けを借りて内定に漕ぎつけた学生もいた。また、家族と十分な話し合いを行っていない学生の保護者から就職先に対する問い合わせもあるなど、意思疎通が今後の就職先で課題になるのではないかと気になる場所である。また、心身に不安のある学生については、保護者や保健室、就職支援センター等と協議協力を得て、就職先に挨拶に出向くなど今後の連携を含めて誠意ある対応をしていただくように努めた。
- ④進学希望者に対する個別指導は、できるだけ1年次の早い時期から始めることが望ましい。
- ⑤本学専攻科への進学予定者は、実務経験後入学するよう勧めている。実務させていただくことの重要性和、1年間育てるための努力をしてくださる施設や企業の方々への感謝の気持ちを持つことを学生に伝えている。今年は希望者14名が内定をいただいた。

3. 卒業時アンケート

(1)実績

実施日：平成30年2月

実施人数：学科2年生81名(回収80名 回収率98.8%)

結果概要：「入学してよかったか」という質問に対しては、8割以上の学生が「そう思う」または「どちらと言えばそう思う」と答えた。「そう思わない」と答えた学生は、

0名であった。専門的知識、給食管理能力および栄養指導能力等について、どれくらい身に付いたと思うか質問したところ、多くの学生が「そう思う」あるいは「どちらかと言えばそう思う」と答えたが、分野によっては「どちらとも言えない」と答えた学生がやや多かった。仕事につくにあたり不安に思っていることについて聞いたところ、献立作成や人間関係を選んだ学生が多かった。

(2)課題

毎年、学生にアンケートを依頼していろいろな意見が出てくるが、教員は真摯に受け止めPDCAを行っていくことが必要である。教育懇談会やアンケートの結果を踏まえて、少しでも学生にとって充実した2年間となるよう改善していかなければならない。

Ⅲ. 地域貢献

1. 研究・社会的活動

(1)研究

論文・執筆等

田淵英一

【論文】

- ① Takeuchi, H., Futatsuya, C., Miki, A., Tabuchi, E., and Sugano, M. : Supplementation with trans fatty acid at 1% energy did not increase serum cholesterol irrespective of the obesity-related genotypes in healthy adult Japanese, Asia Pacific Journal of Clinical Nutrition (印刷中). 共著
- ② 田淵英一：栄養・作業・運動療法による認知症治療効果：精神機能評価. 富山短期大学紀要 第52巻, pp.7-19 (H29.3) 単著
- ③ 田淵英一：栄養・作業・運動療法による認知症治療効果：運動機能評価. 富山短期大学紀要 第52巻, pp.20-30 (H29.3) 単著

【執筆】

- ① 田淵英一（監修）：脳トレーニング問題集 vol.1, VITA, 109号別冊, p.1-8 (H29.6) 共著
- ② 田淵英一（監修）：脳トレーニング問題集 vol.2, VITA, 110号別冊, p.1-8 (H29.9) 共著
- ③ 田淵英一（監修）：健康ドリル④楽しみながら脳をトレーニング, イキイキ健康講座, vol.2, p.2, (H29) 共著
- ④ 田淵英一（監修）：脳トレクイズに挑戦!, porta, 第28号, p.14 (H29.10) 共著
- ⑤ 田淵英一（監修）：脳トレーニング問題集 vol.3, VITA, 111号別冊, p.1-8 (H29.12) 共著

【新聞・その他】

- ① 田淵英一：祝辞, 富山大学医学部開学40周年記念誌, pp.9, 富山大学医学部創立40周年記念誌編集委員会 (H29.11) 単著

- ② 田渕英一：富山（医科薬科）大学水泳部の黄金時代 恩師小野武年先生への感謝を込めて，富山大学医学部開学 40 周年記念誌，pp.195-196（H29.11） 単著
- ③ 田渕英一：気がついたら脳トレ普及活動も 10 年に，リレーエッセイ 109 日々雑感，VITA，第 28 巻第 3 号（110 号），p.28（H29.9） 単著

竹内弘幸

【論文】

- ① Takeuchi, H., Futatsuya, C., Miki, A., Tabuchi, E., and Sugano, M. : Supplementation with trans fatty acid at 1% energy did not increase serum cholesterol irrespective of the obesity-related genotypes in healthy adult Japanese, Asia Pacific Journal of Clinical Nutrition (印刷中). 共著
- ② Takeuchi, H. and Sugano, M. : Industrial trans fatty Acid and serum cholesterol: The allowable dietary level, Journal of Lipids, 2017, article ID 9751756, 10 pages (2017) 共著

【執筆】

- ① 海老原清，渡邊浩幸，竹内弘幸編，栄養科学シリーズ NEXT 食べ物と健康，食品と衛生 食品加工・保蔵学（2017），講談社，東京.
- ② 竹内弘幸，油脂類，栄養科学シリーズ NEXT 食べ物と健康，食品と衛生 食品加工・保蔵学，海老原清，渡邊浩幸，竹内弘幸編，pp141-146（2017），講談社，東京.

深井康子

【執筆】

- ① 米粉レシピブック：富山県食品産業協会
- ② 次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理：すし みょうがずし・おせずし 農文協（H29.11）

【新聞・その他】

- ① 富山短大・深井教授ら県内調査し本に 郷土料理伝えたい：北日本新聞（H29.12.1）

堀田裕史

【論文】

- ① 堀田裕史：簡易型栄養計算・栄養評価ソフト TONCHAN の試作、富山短期大学紀要、第 53 巻、pp.49-60、平成 29 年 9 月、単著
- ② 堀田裕史、山岸博美：都道府県別の糖尿病標準化死亡比(男性)の重回帰分析、富山短期大学紀要、第 53 巻、pp.61-75、平成 29 年 9 月、共著
- ③ 堀田裕史、高木三郎、山岸博美、樋口康彦：今後の初等・中等学校におけるプログラミング教育、富山短期大学紀要、第 54 巻、pp.44-59、平成 30 年 3 月、共著

稗苗智恵子

【論文】

- ① 地域における減塩食の普及活動 単著 富山短期大学紀要第 54 巻 P.111-115（H30.3）

【新聞・その他】

- ① 富山短大・深井教授ら県内調査し本に 郷土料理伝えたい：北日本新聞（H29.12.1）

樋口康彦

【論文】

- ① 樋口康彦：栄養士養成課程の学生における食意識変化，富山短期大学紀要(富山短期大学)，第 53 卷，Pp.76～79(2017 年 9 月) 単著
- ② 樋口康彦：短期大学学生における外食行動，富山短期大学紀要(富山短期大学)，第 53 卷，Pp.80～86(2017 年 9 月)単著
- ③ 堀田裕史、高木三郎、山岸博美、樋口康彦：今後の初等・中等学校におけるプログラミング教育，富山短期大学紀要(富山短期大学)，第 54 卷，Pp.44～59(2018 年 3 月)共著

山岸博美

【論文】

- ① 特定給食施設における嚥下食の実態と地場産物を活用した高齢者向けの嚥下食の開発について、富山短期大学紀要第 53 卷、pp41-48、(2017.9)、単著
- ② 都道府県別の糖尿病標準化死亡比（男性）の重回帰分析、富山短期大学紀要第 53 卷、pp61-75、(2017.9)、共著
- ③ 栄養教諭が行う学校給食における学校安全業務について、富山短期大学紀要第 54 卷、pp105-112、(2018.3)、単著
- ④ 今後の初等・中等学校におけるプログラミング教育、富山短期大学紀要第 54 卷、pp44-59、(2018.3)、共著
- ⑤ 栄養教諭が行う食育の実践と成果および課題についての研究、岐阜女子大学文化情報研究紀要
- ⑥ 第 19 卷 (2018.3) No.223-24、pp23-34、共著

【新聞・その他】

1. 富山県教育かわら版（夏・秋号）「親子で一緒に作ろう！レシピ」（H29 7 月・11 月）

高木尚紘

【論文】

- ① 「若年女性における疲労自覚症と栄養素摂取量との関係」富山短期大学紀要第 53 卷 (H29.9) 単著

【執筆】

- ① 栄養教育論実習・演習 ドメス出版 (H29.4) 共著

大森聡

【研究ノート】

- ① 大森聡,中根一恵：給食管理実習における実習回数と廃棄率の関係，富山短期大学紀要,第 53 卷,103-104 (2017.9) 共著

- ② 大森聡,中根一恵：給食管理実習における作業動線と疲労度との関係, 富山短期大学紀要, 第 53 巻,105-107 (2017.9) 共著

【執筆】

- ① 逸見幾代,平林眞弓,長田早苗,井上典代,渡邊隆子,本間祐子,松藤泰代,田中弘美,井部奈生子,布川育子,大森聡,藤井文子：Nブックス 給食の運営—栄養管理・経営管理—,pp126-134 (2017) 株式会社建帛社,東京

【新聞・その他】

- ① 戸出ふれあい学級開講 富山短大専任講師の大森さん講演,北日本新聞 (2017.5.22)

角田香澄

【論文】

- ① Mitochondria Toxicity of Silver Ion as the Molecular Mechanism for the Antifungal Activity.富山短期大学紀要第 53 巻,pp87-97,(2017.9),共著

所属学会・研究発表等

田淵英一

【所属学会】

日本生理学会、日本味と匂学会、日本栄養改善学会、日本情動学会、国際脳研究機構

【研究発表】

- ② 北平早弥佳、篠崎綾、島崎日菜女、廣上彩華、将積日出夫、渡辺祥子、田淵英一：発芽玄米摂取によるアレルギー性鼻炎の治療効果の検討, 第 64 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集, 75 巻 5 号, pp. 267 (H29.9).
- ③ 篠崎綾、北平早弥佳、廣上彩華、島崎日菜女、乗杉理、渡辺祥子、田淵英一：発芽玄米摂取によるアトピー性皮膚炎の治療効果の検討, 第 64 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集, 75 巻 5 号, pp. 268 (H29.9).
- ④ 島崎日菜女、廣上彩華、篠崎綾、北平早弥佳、酒井重数、渡辺祥子、田淵英一：栄養・作業・運動療法による認知症治療の試み：2 年間の運動機能評価, 第 64 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集, 75 巻 5 号, pp. 268 (H29.9).
- ⑤ 廣上彩華、島崎日菜女、北平早弥佳、篠崎綾、酒井重数、渡辺祥子、田淵英一：栄養・作業・運動療法による認知症治療の試み：2 年間の精神機能評価, 第 64 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集, 75 巻 5 号, pp. 268 (H29.9).
- ⑥ 中村紫穂、白石葵、稗苗智恵子、田淵英一：若年女性の食習慣と基礎代謝が体格に及ぼす影響, 第 64 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集, 75 巻 5 号, pp. 269 (H29.9).
- ⑦ 白石葵、中村紫穂、稗苗智恵子、田淵英一：若年女性の食生活習慣・身体的特徴と性格との関連性, 第 64 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集, 75 巻 5 号, pp. 268 (H29.9).
- ⑧ 藤田花菜、古川萌々、田淵英一、竹内弘幸：トランス脂肪酸の摂取と血清脂質及び糖代謝マーカーとの関連— β 3 アドレナリン受容体遺伝子のタイプ別解析—, 第 64 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集, 75 巻 5 号, pp. 256 (H29.9).

- ⑨ 古川萌々、藤田花菜、田淵英一、竹内弘幸：脂質摂取と血中脂質濃度、糖代謝マーカーおよび血圧との関連－FTO 遺伝子のタイプ別解析－，第 64 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集，75 巻 5 号，pp. 256 (H29. 9).

竹内弘幸

【所属学会】

日本栄養・食糧学会、日本栄養改善学会、日本油化学会、日本肥満学会、日本臨床栄養学会

【研究発表】

- ① 藤田花菜，古川萌々，田淵英一，竹内弘幸，トランス脂肪酸摂取と血中脂質及び糖代謝マーカーとの関連－ β 3 アドレナリン受容体遺伝子のタイプ別解析－，第 64 回日本栄養改善学会学術総会（徳島，9 月 14 日），講演要旨集 256（2017）。
- ② 古川萌々，藤田花菜，田淵英一，竹内弘幸，脂質摂取と血中脂質濃度，糖代謝マーカーおよび血圧との関連－FTO 遺伝子のタイプ別解析－，第 64 回日本栄養改善学会学術総会（徳島，9 月 14 日），講演要旨集 256（2017）。

富岡徹久

【所属学会】

日本農芸化学会、日本食品科学工学会、日本脂質栄養学会

【研究発表】

- ① 第 13 回日本栄養改善学会北陸支部学術総会：食事中的ポリフェノール含有量と抗酸化能の測定 共著 小松 (H30. 2)
- ② 第 13 回日本栄養改善学会北陸支部学術総会：糖尿病食中の亜鉛含有量の測定 共著 小松 (H30. 2)

深井康子

【所属学会】

日本咀嚼学会（評議員）、日本伝統食品研究会（理事）、日本家政学会、日本家政学会食文化研究部会、日本調理科学会、高分子学会、日本栄養・食糧学会、日本栄養改善学会

【研究発表】

- ① 中谷内あかね，深井康子，富山のブリ食文化に関する年代別意識の変遷，日本調理科学会平成 29 年度大会（東京，8 月 31 日），研究発表要旨集 p. 70（2017）
- ② 深井康子，守田律子，原田澄子，稗苗智恵子，中根一恵，富山県の家庭料理 おやつの特徴：自然の恵みを活かした米・米粉の食文化，日本調理科学会平成 29 年度大会（東京，8 月 31 日・9 月 1 日），研究発表要旨集 p. 97（2017）嗜好性 共著 名古屋 (H28. 8)

堀田裕史

【所属学会】

情報処理学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本経営工学会、日本栄養改善学会

稗苗智恵子

【所属学会】

日本栄養改善学会、日本栄養・食糧学会、日本静脈経腸栄養学会、日本病態栄養学会、日本健康・栄養システム学会、日本調理科学会

【研究発表】

- ① 第 64 回日本栄養改善学会学術総会：若年女性の食生活習慣・身体的特徴と性格との関連性 共著 徳島 P.268 (H29.9)
- ② 第 64 回日本栄養改善学会学術総会：若年女性の食習慣と基礎代謝が体格に及ぼす影響 共著 徳島 P.269 (H29.9)
- ③ 日本調理科学会平成 29 年度：富山県の家庭料理「おやつの特長」－自然の恵みを活かした米・米粉の食文化－P.269 (H29.8)
- ④ 富山第一銀行奨学財団研究発表会：必要エネルギーと体質を考慮した地域住民の生活習慣病の予防・改善のための栄養指導の実践活動 単著 富山市 (H29.7)

樋口康彦

【所属学会】

日本応用心理学会、日本栄養改善学会

【研究発表】

- ① 第 13 回日本栄養改善学会北陸支部学術総会：食生活目標が食行動に与える影響, P22 共著 石川県 (H30. 2)
- ② 第 13 回日本栄養改善学会北陸支部学術総会：環境が食行動に与える影響, P23 共著 石川県 (H30. 2)

山岸博美

【所属学会】

日本食育学会、日本スポーツ栄養学会、日本栄養改善学会、日本栄養士会

【研究発表】

- ① 第 5 回日本食育学会総会・学術学会 (H29.5.愛媛)「特定給食施設における嚥下食の実態と地場産物を活用した高齢者向けの嚥下食の開発について」 P-012
- ② 第 64 回日本栄養改善学会学術総会 (H29.9.徳島)「短期大学生によるスイーツ開発における味覚に関する調査」 P240
- ③ 第 5 回日本栄養改善学会関東・甲信越支部学術総会 (H30.2.東京)「短期大学生における食生活調査に関する一考察」 P5

高木尚紘

【所属学会】

日本健康教育学会、日本栄養改善学会、日本スポーツ栄養学会、日本栄養士会

大森聡

【所属学会】

日本栄養・食糧学会、日本栄養改善学会、日本病態栄養学会

【研究発表】

- ① 浅田憲彦, 大森聡, 小野章史: 第 64 回日本栄養改善学会学術総会: ラットにおけるエリタデニンの反転小腸法による吸収についての検討, 第 64 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集 P. 261 (2017. 9)
- ② 宮村亨弘, 大森聡: 第 21 回日本病態栄養学会年次学術集会: とろみ調整食品の添加および食形態の差異が食後血糖上昇に与える影響, 第 21 回日本病態栄養学会年次学術集会 (プログラム・講演抄録集) P. 67 (2018. 1)
- ③ 白石麻起, 宮村亨弘, 岡村友理香, 大森聡: 第 13 回日本栄養改善学会北陸支部学術総会: 野菜における加熱の有無および食形態と摂取重量比の違いが食後血糖値の上昇に与える影響, 第 13 回日本栄養改善学会北陸支部学術総会講演要旨集 P. 22 (2018. 3)
- ④ 大森聡, 中根一恵: 第 18 回富山県栄養士会栄養研究発表会: 給食管理実習における実習回数と廃棄率の関係, 第 18 回富山県栄養士会栄養研究発表会要旨集 P. 27-28 (2018. 3)

角田香澄

【所属学会】

日本食品衛生学会、日本公衆衛生学会、日本ミトコンドリア学会、日本マイコトキシン学会、日本栄養改善学会

【研究発表】

- ① 第 64 回日本栄養改善学会学術総会 (H29.9.徳島) 「短期大学生によるスイーツ開発における味覚に関する調査」 P240

中根一恵

【所属学会】

日本家政学会、日本家政学会食文化研究部会、日本調理科学会、日本スポーツ栄養学会

【研究発表】

- ① 中根一恵, 南基泰, 洲崎孝雄, 森瀬一幸, 小川宣子, 栄養・おいしさの視点から調査した本膳料理-現代の食生活への提案-, 日本家政学会第 69 回大会, (奈良, 5 月 27 日・28 日), 研究発表要旨集 p 73 (2017)
- ② 深井康子, 守田律子, 原田澄子, 稗苗智恵子, 中根一恵, 富山県の家庭料理 おやつの特徴: 自然の恵みを活かした米・米粉の食文化, 日本調理科学会平成 29 年度大会, (東京, 8 月 31 日・9 月 1 日), 研究発表要旨集 p 97 (2017)
- ③ 大森聡, 中根一恵: 第 18 回富山県栄養士会栄養研究発表会: 給食管理実習における実習回数と廃棄率の関係, 第 18 回富山県栄養士会栄養研究発表会要旨集 P. 27-28 共著

研究助成の申請 (採択分)

田淵英一

- ① 科学研究費助成: 基盤研究 (C) テーラーメイド脂質栄養学の確立を目指した遺伝子多型と

脂質摂取との相互作用の解の解明，分担研究，H28.4～30.3，45万円

- ② 富山短期大学・学長裁量研究費：栄養・作業・運動の複合療法による認知症治療効果，H29.4～30.3，29.4万円
- ③ 青少年育成富山県民会議 若者発！富山の社会福祉実践事業：脳トレーニングによる認知症治療効果の検証，指導教員，H29.7～30.2，20万円

竹内弘幸

- ① 平成28年度科学研究費助成授業基盤研究(C)，テーラーメイド脂質栄養学の確立を目指した遺伝子多型と脂質摂取との相互作用の解明，代表者，期間；平成28.4～31.3，金額；360万円。
- ② 財団法人富山第一銀行奨学財団平成29年度（第34回）研究活動に対する助成，富山湾産のホタルイカがおいしい理由，代表者；竹内弘幸，分担者；なし，期間；平成29.7～30.3，金額；27万円。
- ③ 財団法人旗影会平成29年度研究助成，トランス脂肪酸の安全性評価 ー用量依存的ヒト介入試験ー，代表者；竹内弘幸，分担者；田淵英一，期間；平成29.6～30.3，金額；100万円。

深井康子

- ① 平成29年度学長裁量経費，学生の包丁技術向上を目指した実践教育，期間H29.4～H30.3，研究費10万円

山岸博美

- ① 「富山県の高校生および大学生の甘味に対する味覚意識および食物嗜好性について」公益財団法人富山第一銀行奨学金（平成29年6月～平成30年2月）240千円（共同研究）
- ② 「若者発！富山の社会福祉実践事業」富山県厚生部子ども支援課青少年育成富山県民会議（平成29年6月～平成30年2月）200千円（共同研究）
- ③ 「短期大学生によるトミタンスイーツラボの活動」富山短期大学特別教育研究経費（平成29年5月～平成30年2月）120千円（共同研究）

高木尚紘

- ① 平成29年度学長裁量経費：身体活動量は首尾一貫感覚と関連する。期間H29.4～H30.3研究経費15.4万円
- ② 平成29年度公益財団法人富山県ひとつくり財団高等教育振興事業助成金：成人期における身体活動量と首尾一貫感覚の関連について，期間h29.4～H30.3，研究経費35万円

大森聡

- ① 平成29年度学長裁量経費：在学生および卒業生に対する管理栄養士国家試験学習サポート（継続） 期間H29.4～H30.3，研究経費7.4万円
- ② 平成29年度学長裁量経費：とろみ調整食品の添加および食形態の差異が食後血糖上昇に与

える影響 期間 H29. 4～H30. 3, 研究経費 26. 2 万円

角田香澄

- ① 「富山県の高校生および大学生の甘味に対する味覚意識および食物嗜好性について」公益財団法人富山第一銀行奨学金（平成 29 年 6 月～平成 30 年 2 月）240 千円（共同研究）
- ② 「若者発！富山の社会福祉実践事業」富山県厚生部子ども支援課青少年育成富山県民会議（平成 29 年 6 月～平成 30 年 2 月）200 千円（共同研究）
- ③ 「短期大学生によるトミタンスイーツラボの活動」富山短期大学特別教育研究経費（平成 29 年 5 月～平成 30 年 2 月）120 千円（共同研究）

(2) 社会的活動

講演・講義等

田淵英一

【講演】

- ① 石川県母子及び寡婦福祉大会講演会：男性脳と女性脳＋脳トレ（H29. 7）
- ② 上滝小学校学校保健委員会講演会：ゲーム脳ってなあに？（H29. 9）
- ③ いしかわ長寿大学記念講演・第 2 回公開講座：脳トレーニングによる認知症予防（H29. 9）
- ④ いみず脳トレクラブ講習会：田淵英一教授による脳トレ講習会（H29. 11）
- ⑤ 高岡市古府公民館講演会：おもしろ脳トレーニング（H30. 2）
- ⑥ 開館 35 周年記念金岡邸活性化事業金岡邸「健康講演会」：ボケないための脳トレーニングと脳の話（H30. 3）
- ⑦ 北陸銀行健康保険組合げんきーぷ 21：脳のしくみ と 頭を柔らかくする脳トレーニング。セミナー（H30. 2）
- ⑧ 北日本新聞とやま健康・福祉・介護フェア 2018：認知症予防のための脳トレーニング（H30. 3）
- ⑨ 脳トレ立山：平成 29 年度脳トレ研修会（H30. 2）
- ⑩ 県民カレッジ連携南砺市大学サテライト講座：認知症予防のための脳トレーニング（H29. 8）
- ⑪ 富山短期大学出張講義小杉高等学校：脳トレで食育を楽しく学ぼう（H29. 3）
- ⑫ 富山短期大学出張講義龍谷富山高校：管理栄養士・栄養士とは＋食育脳トレ（H29. 3）
- ⑬ 富山短期大学出張講義雄峰高校：体験授業 管理栄養士・栄養士とは＋食育脳トレ（H30. 2）
- ⑭ 富山短期大学出張講義龍谷富山高校：管理栄養士・栄養士とは＋食育脳トレ（H30. 3）

【講義】

- ① 富山市民大学講座：楽しい脳トレーニング 年 10 回（H28. 4～10）
- ② 富山いきいき長寿大学専門的実践講座：いきいき脳トレリーダー養成講座 年 6 回（H29. 10～H30. 2）
- ③ 富山国際大学こども育成学部：精神保健 年 6 回（H29. 4～7）
- ④ 富山国際大学こども育成学部：医学一般 年 15 回（H29. 10～H30. 3）
- ⑤ 脳トレクラブ交流会 年 1 回（H30. 3）

- ⑥ 砺波市社会福祉協議会・砺波市ボランティアセンター：脳トレリーダー養成講座 年4回 (H29.1～2)
- ⑦ 射水市福祉保健部 地域福祉課・介護予防サポート研修会：脳トレリーダー養成講座 年4回 (H29.2～5)
- ⑧ 小矢部市社会福祉協議会・小矢部市ボランティアセンター：脳トレリーダー養成講座 年5回 (H30.6～8)
- ⑨ 脳トレクラブ交流会 2017.3.22, 富山,. 2018.3.29, 富山,

竹内弘幸

【講演】

- ① 富山短期大学公開講座（県民カレッジ連携講座），油の栄養～ココナッツ油，エゴマ油，トランス脂肪酸，南砺市地域包括ケアセンター（南砺市），8月5日（2017）.
- ② 平成29年度南砺市民大学後期講座，“進化栄養学”の観点から見た生活習慣病，福光福祉会館，9月26日（2017）.
- ③ 第18回スミセイウエルネスセミナー，驚きの発酵パワー！腸内健康ライフ，富山県総合福祉会館サンシップとやま，10月1日（2017）.

富岡徹久

【講演】

- ① 富山保健所 健康づくり健康栄養教室：「健康とビタミン」（H29.9）

【講義】

- ① 富山歯科総合学院：生化学（H29.10～H30.1）

深井康子

【講演】

- ① 平成29年度特定給食施設等関係者研修会：おいしさの科学～健康づくりに生かすためのヒケツ～（H29.9）
- ② 富山短期大学南砺市公開講座：夏休み 親子で富山の郷土料理（H29.8）
- ③ 富山民俗の会総会：次世代に伝えたい、富山の食文化～郷土料理雑煮にみる地域差～（H30.2）
- ④ 富山市保健所：日本の食文化と健康寿命（H30.2）
- ⑤ 富山県菓子工業組合：県内農水産物を利用した富山のお菓子（H30.3）

【講義】

- ① 富山市民大学：「飛越往来」飛越をめぐる鯰文化（H29.5）
- ② 富山市民大学：「健康生活の知恵」コース 2回
第1回 食をとりまく環境～歴史に学ぶ健康とのかかわり～（H29.6）
第2回 食をとりまく環境～消費者の目から見た食品ロス～（H29.7）
- ③ 富山短期大学幼児教育学科：子どもの食と栄養Ⅰ 前期15回（H29.4～H29.8）
- ④ 富山市医師会看護専門学校：食生活と栄養15回（H29.8～10）

- ⑤ 富山県立いずみ高等学校：特別授業「食と環境」
 - 第1回 災害時の食事～食生活支援をするには～ (H29.11)
 - 第2回 家庭での手軽な災害時の食事 (H29.11)
 - 第3回 災害時の調理 (H29.11)
- ⑥ 富山国際大学子ども育成学部：生活文化演習1回 (H29.11)
- ⑦ 富山県立いずみ高等学校：次世代に継ぐ富山の家庭料理 (H30.2)

稗苗智恵子

【講演】

- ① 新川地域在宅医療療養連携協議会総会：栄養学からみた高齢者のフレイル予防について 魚津市 (H29.8)
- ② 富山県砺波厚生センター 特定給食施設等関係者研修会：「子どもを対象とする給食施設における健康危機管理について」砺波市 (H29.8)
- ③ 富山短期大学公開講座：～おもてなし料理～(H29.11)
- ④ 富山県公衆栄養研究会：「母と子の食生活・栄養の現状と問題点」 富山市 (H30.2)
- ⑤ 糖尿病予防キャンペーン東日本地区 in 富山：～世代ごとの食事ポイント～「おいしく食べて健康に」 富山市 (H30.3)

【講義】

- ① 氷見高等学校 専門技術者等招聘講座：栄養士・栄養教諭の仕事とは 最近の青年期の食に関する話題と食育について 氷見市 (H29.11)
- ② 富山県立総合衛生学院看護学科：栄養学 (H29.5)
- ③ 富山県立総合衛生学院助産科：母子の栄養 (H29.6)

樋口康彦

【講演】

- ① 老年期における心理と生活 (富山国際学園南砺サテライト：H29.10)

【講義】

- ① 富山短期大学幼児教育学科：教育心理学 (H29.4～8)
- ② 富山短期大学福祉学科：生活と社会 (H29.4～8)
- ③ 富山短期大学福祉学科：心理一般 (H29.9～H30.2)

山岸博美

【講演】

- ① 富山の食と食生活改善推進員に望むこと (魚津市食生活改善推進連絡協議会：H29.4)
- ② 親子クッキング (南砺市保育士会：H29.7 (2回開催))
- ③ 健康寿命の延伸につながる若い世代への食育推進 (高岡厚生センター管内食育活動研修会：H29.8)
- ④ 悠久の森 2017 森にふれよう：栄養相談 (悠久の森実行委員会：H28.8)
- ⑤ 若者世代におけるこれからの食育 (富山県立雄山高等学校 PTA 主催講演会：H29.10)

- ⑥ 離乳食に関する講義・料理講習会（南砺市保育士会給食部会：H29.8 及び 10）
- ⑦ 保育所における食育の推進と成果の可視化について（南砺市保育士会：H28.6）
- ⑧ 健康寿命の延伸につながる若い世代への食育推進（新川厚生センター：H29.10）
- ⑨ 子どもの食育（南砺市保育士会：H29.10）
- ⑩ 学校保健委員会（朝ごはん）（上市中央小学校：H29.11）
- ⑪ とやま農業未来カレッジと富山短期大学との調理体験交流会（調理講師）（とやま農業未来カレッジ：H29.11）
- ⑫ 保育所等における食事の提供ガイドライン（富山市認定こども園協議会：H29.12）
- ⑬ 第4回調理員研修会（食物アレルギー・誤嚥防止・アレルギー対応献立調理実習）（富山市役所こども家庭部こども支援課：H29.12（2回開催））
- ⑭ 健康寿命を延ばす食事について（富山市食生活改善推進連絡協議会：H20.1）

高木尚紘

【講演】

- ① 食生活と身体活動を見なおして、健康寿命をのばそう（滑川市福寿大学 H29.5）

大森聡

【講演】

- ① 戸出ふれあい学級、栄養を正しく理解する（H. 29. 5）
- ② 2017 富山短期大学公開講座 親子体験講座 親子で楽しむおやつづくり（H. 29. 6）
- ③ 富山県高等学校定時制学校給食研究会総会、食生活と健康（H. 29. 12）
- ④ 災害支援研修会、災害時に求められる栄養士とは（H. 29. 12）

【講義】

- ① 食べ物を科学する 出張授業滑川高校（H29. 7）
- ② 食べ方の違いによっておこる身体の変化 出張授業雄峰高校（H29. 9）
- ③ 食べ方の違いによっておこる身体の変化 出張授業上市高校（H30. 1）

中根一恵

【講演】

- ① 平成 29 年度三重県水泳連盟医科学委員会講演会：「アスリートと栄養摂取」（H29. 11）

行政および関係者等への審議会・研究会委員等

田淵英一

- ① 日本生理学会評議員
- ② 日本情動学会評議員
- ③ 富山大学医学部同窓会会長（理事）、会報編集委員
- ④ 富山大学同窓会連合会副会長（幹事）
- ⑤ 富山大学杉谷（医薬系）キャンパス国際交流助成会理事
- ⑥ 富山県立総合衛生学院助産学科入試問題作成委員

- ⑦ 富山国際大学倫理委員会委員
- ⑧ 医療法人社団功連会中川病院（精神神経科・内科）非常勤医師
- ⑨ 社会福祉法人あゆみの郷（重度心身障害施設）非常勤医師
- ⑩ 萩野病院（内科）非常勤医師
- ⑪ 富山国際大学附属高等学校 学校医
- ⑫ 「富山やくぜん」認定委員

竹内弘幸

- ① 日本栄養改善学会（評議員，第66回学術総会会長、北陸支部幹事）
- ② 日本栄養・食糧学会（代議員）
- ③ 日本油化学会（代議員）
- ④ 富山県衛生研究所外部評価委員

富岡徹久

- ① 富山市食の安全懇話会委員

深井康子

- ① 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 評議員
- ② 日本調理科学会 家庭料理特別研究 富山県編集責任者
- ③ 日本調理科学会東海・北陸支部役員・富山県連絡委員
- ④ 日本伝統食品研究会 理事
- ⑤ 富山県消費者協会 副会長
- ⑥ 富山県食育推進会議委員
- ⑦ 富山県環境審議会委員
- ⑧ 富山県大規模小売店舗立地審議会委員
- ⑨ 食のとやまブランドマーケティング戦略検討委員会委員
- ⑩ 富山県生涯学習審議会委員
- ⑪ 富山県卸売市場審議会委員
- ⑫ 富山県産米粉用米需要拡大推進会議委員・委員長
- ⑬ 富山県米粉料理レシピコンテスト審査委員・委員長
- ⑭ 富山県民生涯学習カレッジ高岡地区センター運営会議委員・会長
- ⑮ 富山市民学習センター運営協議会委員
- ⑯ くろべ健康体質料理レシピコンテスト審査委員・委員長
- ⑰ 富山市民学習センター運営協議会委員
- ⑱ 富山県LPガスお客様相談所委員会委員
- ⑲ 南砺市と富山国際大学及び富山短期大学の包括連携に関する連携協議会

稗苗智恵子

- ① とやま在宅協議会委員（H26.7～）

- ② 「富山市健康プラン 21」推進委員会委員 (H28.2～)
- ③ 魚津市食育推進委員会委員 (H28.3～)

山岸博美

- ① 高岡厚生センター管内食育推進連絡会委員 (H24～)
- ② 富山県保育士会南砺市委託研究講師 (H27～)
- ③ 氷見市学校給食センター整備検討委員 (H28～)

高木尚紘

- ① 富山県栄養士会 研究教育事業部理事 (H27～)

大森聡

- ① 川崎医療福祉大学大学院 医療技術学研究科臨床栄養学専攻 研究生
- ② 富山県栄養士会 研究教育事業部理事 (H. 29～)
- ③ 富山県栄養士会 広報部副部長 (H. 29～)

2. 管理栄養士国家試験準備講習会

(1)実績

- ①管理栄養士国家試験受験のための講習会を県内に在住する栄養士および専攻科学生を対象に募集したが、申し込み件数が2件ということで縮小して実施した。
- ②開催は、平成29年11月2日の金曜日のみで、特別講師による授業のみ実施した。
- ③全国統一模擬試験を2回実施した。
- ④専攻科2年生には、全国統一模擬試験を2回とも全員に受験させ、1年生には1回以上を受験するよう指導し、今後に向けて努力するよう促した。

(2)課題

- ①第32回試験より、試験制度が変更するため、在学中の受験が不可能となり、それに対応した試験対策の充実が求められる。
- ②管理栄養士国家試験受験願書はまとめて入手し、受験生への配布を行っているが、受講者の受験状況と合格状況の把握が難しく、検討が必要である。
- ③募集定員15名のところ、受講申込者が定員に満たなかった。今後の講座内容について見直しをしていく必要がある。

3. 公開特別講演会

(1)実績

食物栄養学科と専攻科の特別講演会を合併して開催している。講演会の演者は、栄養士・管理栄養士に必要とされる専門的な内容を様々な視点からの講演内容となった。

公開特別講演会 平成 29 年 9 月 30 日 (土) 9 : 10~12 : 20 富山短期大学

演題	講師名	参加者
「スポーツと健康のための栄養学-筋肉づくりのためのタンパク質・アミノ酸栄養」 目からうるこの介護予防	下村吉治 先生 名古屋大学大学院 生命農学研究科教授 ・副研究科長	学科 150 専攻科 26 教職員 15 一般県民 6 報道関係 0
	川口善治 先生 富山大学附属病院 整形外科, 診療教授 富山大学医学部 整形外科, 准教授	合計 197 名

(2)課題

公開講座ということで、本学の学生のみならず、県栄養士会員や地域住民等一般からの参加を増員するため、地域連携センターと連携を図りながら行っていく。また、最新の栄養学等の情報を発信していく担い手としての大学の役割を地域等に PR していく。

4. 公開講座

(1)実績

食物栄養学科教員が担当した公開講座の実施日時や受講者数は、以下の表の通りである。

平成 29 年度公開講座

講座名	実施日時	講師	講座内容	受講者数
滑川市福寿大学	5月26日(金) 13:30~14:50	高木尚紘 講師	食生活と身体活動 を見直して、健康寿 命をのばそう	66
富山国際学園福祉 会幼保連携型認定 こども園にながわ 保育園	6月3日(土) 9:30~11:00	角田香澄 講師	♪よく噛んで食べ よう♪こどもと食 べたいおやつ教室	65
富山短期大学付属 みどり野幼稚園	6月24日(土) 9:30~11:30	大森聡 講師	親子で楽しむおや つ作り	52
南砺市大学サテラ イト	8月5日(土) 13:30~14:50	竹内弘幸 教授	油の栄養~ココナ ッツ油、エゴマ油、 トランス脂肪酸~	13

	8月5日(土) 15:00~16:20	田淵英一 教授	認知症予防のための 脳トレーニング	13
	8月9日(水) 9:30~12:00	深井康子 教授	夏休み親子で富山の 郷土料理	4
	10月28日(土) 13:30~14:50	樋口康彦 講師	老年期における心 理と生活	14
富山短期大学	11月25日(土) 9:30~12:00	稗苗智恵子 准教授	おもてなし料理	20

(2)課題

今後もより増して地域に密着し貢献していくことや、県内活動拠点の開発が必要と考えられる。

IV. 入学者確保

1. 学生募集・入学試験

(1)実績

30年度入学試験は、入学定員80名を厳守すべく入学者79名となった。入試区分ごとの入学定員、受験者、入学者は以下の表1の通りである。過去5年間の入学試験における募集定員および受験者を以下の表2に示した。受験者数は114名であった。昨年度同様に、推薦入試区分には指定校制、併設校制、公募制のうち公募制に併願を取り入れている。また、自己推薦入試も導入しており、センター試験利用型入試では、前期、後期、中期の計3回実施した。特別入試は2回実施した。入試日および実施場所等については、以下の表3の通りである。

(2)課題

- ①推薦入試は受験者があり順調に推移した。しかし、一般I期以降は伸び悩み受験者数の減少となった。今後どの区分での受験が高校生にとって受験しやすいのか、またその時期について検討する必要がある。
- ②一般入試I期では昨年度、今年度と約70%の歩留りであり、センター利用型入学者数の変動が大きく、歩留り予想が難しい。

表1 平成30年度および29年度入試の出願・受験・合格・入学状況

入試区分		募集人員		受験者		合格者		入学者		
		H31	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	
推薦 入試	指定校制	48	52	57	48	55	48	55	48	
	併設校制									
	公募制	先願	1	若干名	0	1	0	1	0	0
		併願								
自己推薦		1	若干名	1	1	1	1	1	1	
一般入試 I期		21	23	29	47	28	44	16	31	
一般入試 II期		1	若干名	1	1	1	1	1	0	
センター利用型前期		4	5	25	30	24	22	4	5	
センター利用型中期		1	若干名	0	1	0	0	0	0	
センター利用型後期		1	若干名	1	1	1	1	1	1	
特別入試	社・学等A	1	若干名	1	2	1	2	1	1	
特別入試	社・学等B	1	若干名	0	0	0	0	0	0	
総計		80	80	114	132	110	120	79	87	

表2 平成26年～30年度入試の受験者数推移

入試区分		H30	H29	H28	H27	H26
推薦入試		55	49	77	63	42
自己推薦		1	1	7	8	—
一般入試 I期		29	47	47	48	49
一般入試 II期		1	1	5	10	1
センター利用型前期		25	30	27	43	11
センター利用型中期		0	1	3	9	—
センター利用型後期		1	1	1	5	1
特別入試	社・学等A	1	2	1	4	2
特別入試	社・学等B	0	0	1	3	
総計		114	132	169	193	106

表3 平成30年度入試の選考日および選考方法

入試区分	選考日	選考方法
推薦入試	平成29年11月18日(土)	書類審査、小論文、面接
自己推薦	平成29年12月9日(土)	書類審査、面接
一般入試 I期	平成30年2月2日(金)	書類審査、筆記試験 2科目(指定:国語 選択:英語IⅡ、数学I、生物基礎)
一般入試 II期	平成30年2月23日(金)	書類審査、小論文、面接
センター利用型 前期 中期 後期		書類審査、センター試験 2科目 (国、数(数I、数II、数A)、理(物、 化、生、地学)、外(英))
特別入試 社・学等A B	平成29年12月9日(土) 平成30年2月23日(月)	書類審査、面接

2. 入試広報

(1)実績

①進学相談会、出張授業、本校訪問対応等

オープンキャンパス、高校関係者の本学訪問時の学科紹介兼ガイド、進学相談会、高校での校内説明会、高校での模擬授業等を実施した。以下に詳細を記載する。

進学相談会

	月日	曜日	場所	担当教員
1	4月17日	月	ウイングウイング高岡	大森
2	6月12日	月	高岡文化ホール	富岡
3	9月19日	火	ANAクラウンホテル	富岡

高校関係者本学訪問

	月日	曜日	対象	担当教員
1	6月30日	金	高校教員対象入試説明会	竹内・田淵・稗苗・深井
2	7月3日	月	富山西高校PTA	稗苗
3	7月6日	木	小杉高校	富岡
4	7月7日	金	龍谷富山高校	竹内
5	7月13日	木	富山いずみ高校	深井
6	7月24日	月	高大連携	田淵
7	7月25日	火	高大連携	田淵
8	7月25日	火	志貴野方向	竹内

9	10月12日	木	泊高校PTA	深井
10	10月21日	土	進学相談会	竹内・田淵
11	12月5日	火	高朋高校	高木
12	12月6日	水	富山北部高校	大森
13	12月7日	木	氷見高校	稗苗
14	12月8日	金	高岡商業高校	竹内
15	12月8日	金	高岡龍谷高校	角田
16	12月11日	月	雄山高校	深井
17	3月2日	金	富山北部高校	稗苗
18	3月28日	水	本学バス見学ツアー	高木

高校での進路ガイダンス

	月日	曜日	高校名	担当教員
1	4月14日	水	氷見高校	稗苗
2	6月14日	水	高岡龍谷高校	山岸
3	6月24日	土	中央農業高校	樋口
4	7月6日	木	高岡龍谷高校	樋口
5	7月10日	月	富山西高校	大森
6	7月11日	火	高岡第一高校	大森
7	9月27日	水	小杉高校	稗苗
8	9月29日	金	中央農業高校	稗苗
9	10月6日	金	小杉高校	小比賀
10	10月25日	水	高岡第一高校	大森
11	1月24日	水	上市高校	大森
12	3月2日	金	高岡商業高校	竹内
13	3月20日	火	南砺福光高校	山岸

高校での模擬授業

	月日	曜日	会場	担当教員
1	6月16日	金	新川高校	山岸
2	7月3日	月	滑川高校	大森
3	7月6日	木	石動高校	深井
4	9月13日	水	雄峰高校	大森
5	12月11日	月	津幡高校	稗苗
6	2月20日	火	雄峰高校	田淵
7	3月9日	金	龍谷富山高校	田淵
8	3月12日	月	富山国際大学付属高校	角田
9	3月19日	月	雄山高校	富岡
10	3月20日	火	泊高校	中根

③新聞報道

食物栄養学科、専攻科食物栄養専攻と関連した新聞報道の報道年月日、タイトルは、研究・社会的活動・所属関連団体研修の各個人の欄を参照のこと。

④ホームページ等

a)ホームページ

本学科・専攻科食物栄養専攻のホームページは必要に応じて変更を行った。

b)ブログ

食物栄養学科の新規ブログ記事は、4月0件、5月1件、6月3件、7月4件、8月0件、9月0件、10月2件、11月1件、12月4件、1月7件、2月2件、3月2件（平成30年3月31日現在）であった。

c)カレッジガイドの作成

本学志望者、教員、保護者向け資料として高校生や高校に配布しているカレッジガイドの2017年度入試用の「カレッジガイド2017」は、2016年度版からの大幅改定となった。さらに2018年度版は全面改定となるため、2017年度において各教員で分担して、加筆・修正、写真撮影等を行った。

d)知っ得情報／コスモス通り(富山国際大学)

知っ得情報は、年度内発行の「推薦入試号」、「一般入試号」において、食物栄養学科の記事を作成した。コスモス通りにおいては、食物栄養学科の記事を掲載した。

(2)課題

平成29年度は、ブログ記事は各行事担当者が作成すること、また、教員で担当を決め、授業紹介を行うことにした。また、学科行事や授業紹介に加え、教員の活躍や学生の活躍に関することも記事にすることができた。今年度も前年度の方向を踏襲している。しかし、アップ数はまだ十分とは言えず、今後はたとえ小さな行事であっても積極的に取り上げ、記事の本数を増やす必要がある。また本数の少ない月があり、今後の工夫が必要であると考えられる。

V. マネジメント体制

1. 自己点検

(1)実績

学科運営や教育の運営・連絡・点検ため、前期20回、後期22回の計42回の科内会議を開催した。また、アクションプランに基づき自己点検を行い、アクションプランの点検表を作成した。年度始めには、各教員が個人年間計画・評価票を作成し、その内容について学科長が点検した。年度末には、個人年間計画・評価票に基づき、学科長が第一次評価者として業

務評価を行った。シラバスについては、学科長および教員委員が、記載事項について点検を行い、必要に応じて修正を依頼した。

(2)課題

科内会議の効率化に努めてはいるが、毎週1時間半程度の科内会議を実施している。情報共有の観点からは、じっくりと時間をかけて会議を行うことが好ましいが、時間的な負担が大きいという事実がある。引き続き、情報共有と業務効率のバランスを考えていく、効率よく科内会議を運営していく必要がある。

教授会や各種委員会の欠席等や休暇については、事前に学科長や委員長等の承諾を得るよう伝えてはいるが、十分に徹底されていない。

2. FD/S D活動

(1)実績

FD/S D活動に積極的に参加するように働きかけた結果、教員は全員3回以上研修会に参加した。また、授業内容の改善について、学科内でFD/S D研究会を実施した。

(2)課題

教員間で研修会参加のばらつきがあるので、今後も各教員の参加状況を把握し、出席回数増加を目指す必要がある。

さらなる教育力向上を目指すためには、学内のFD/S D活動をについて、より活発化していく必要があると考えられる。

3. 資源の有効利用

(1)実績

教員が1名、職員が2名29年度末で退職する。また、次年度4月より新たに採用される教員が1名いるため、学科内の業務分担について長期的な計画を含めて見直しを図った。より教育内容を充実させるため、老朽化した機器等の予算申請を行った。

(2)課題

今後も定年により退職する予定の教員が控えているので、若手教員の早急な育成が必要である。

以上